

第91期 事業のご報告

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

株主メモ

■ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 ■ 定時株主総会 毎年6月開催
 ■ 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、
 あらかじめ公告して定めた日

■ 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 株主名簿管理人 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 (郵便物送付先) 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 (電話照会先) ☎0120-094-777 (通話料無料)
 (インターネットホームページURL)
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

■ 単元株式数 100株
 ■ 公告方法 電子公告
 当社のホームページ
 〈<http://www.tatsuta.co.jp>〉に
 掲載する。
 ただし、事故その他やむを得ない
 事由によって電子公告による
 公告をすることができない場合
 は、日本経済新聞に掲載して行う。

■ 上場証券取引所 東京
 (ご注意)
 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
 2. 証券会社に口座を開設なされておられない株主様のお手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である下記までお問い合わせください。
 特別口座の口座管理機関
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
 (電話照会先) 0120-782-031
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にて、お支払いいたします。



代表取締役会長
木村政信



代表取締役社長
外池廉太郎

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第91期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

平成27年6月

【営業の概況】

当期における我が国経済は、消費税増税の影響および円安に伴う輸入品価格の上昇による個人消費の低迷等はあったものの、比較的好調な企業収益や雇用・賃金環境の改善等により、総じて緩やかな景気回復基調で推移いたしました。その一方で、中国経済の減速懸念や長期に及ぶ欧州経済の停滞等の我が国経済に影響を与えるリスク要因が存在し、個人消費が引き続き低迷していること等もあって、依然先行き不透明感が拭えない状況が続いております。

この間における我が国の銅電線需要量は、自動車向けが弱含みで推移し、電力向けおよび電気機械向けがほぼ横ばいとなった一方で、建設・電販向けが比較的堅調に推移したため、全体として前年を若干上回るものとなりました。また、電子材料分野については、ス

マートフォン等の携帯端末向け需要について、中国系ブランド向け需要の着実な伸展および有力ハイエンドモデル端末の好調な販売に支えられ、引き続き順調に推移いたしました。

当期において当社グループは、このような環境下において引き続き効率的な生産・販売活動を推進するとともに、将来を見据えた研究開発および新規事業開発に注力する等、中長期的視点に立った事業全般にわたる競争力の強化のための各種施策を進めてまいりました。この結果、当連結会計年度の連結売上高は550億2千8百万円（前年度比7.5%増）、連結営業利益は53億7千4百万円（前年度比14.7%増）、連結経常利益は54億6千2百万円（前年度比12.7%増）、連結純利益は33億4千9百万円（前年度比0.6%増）となりました。

電線・ケーブル事業

電線・ケーブル事業の売上高は、銅建値が依然高水準を維持する中、建設・電販関連などインフラ分野向けの販売が堅調に推移したとともに、連結会社の増加に伴う売上高増等により、310億5千4百万円（前年度比5.1%増）となり、営業利益は5億2千4百万円（前年度比6.6%増）となりました。

電子材料事業

主要製品である機能性フィルム等の導電機能性材料の販売は、競合環境の激化に伴う販売価格の低下はあったものの、引き続き高水準の需要伸長が図られた状況のもと、売上高は225億2千8百万円（前年度比11.2%増）となりました。また、営業利益については、製品ラインナップ拡大のための試作費用および各種事業開発関連費用等コスト面での増加はありましたが、53億3千6百万円（前年度比13.6%増）となりました。

その他事業

環境分析事業および機器システム事業などの既存事業が堅調に推移した中、医療機器向け光関連部品の販売伸長により、売上高は14億7千万円（前年度比4.1%増）、営業利益は2億5百万円（前年度比102.4%増）となりました。

当社グループは、創業以来の基幹事業である電線・ケーブル事業および現在の屋台骨に育った電子材料事業をコア事業とし、次代を担う事業開発にも継続的かつ積極的に取り組むことにより、中長期的な経営基盤の安定化、発展に努めてまいります。

また、品質・コスト・納期・サービスの各面で顧客評価No.1を目指すとともに、地球環境の保全に取り組み、顧客、株主、地域社会その他あらゆるステークホルダー（利害関係者）から信頼される企業活動を通じて、社会の発展に寄与することを経営の基本方針としております。

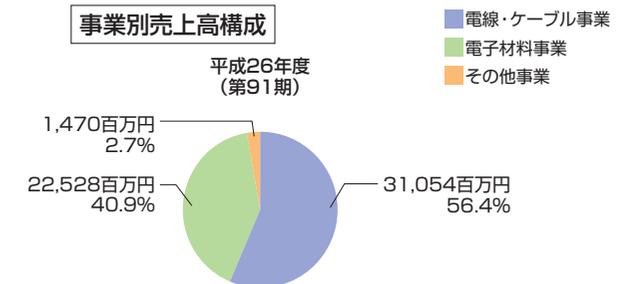
電線・ケーブル事業については、インフラ向け電線分野での各種コストダウンの継続推進による一層の収益基盤の底上げを図るとともに、F A等機器用向け電線分野

において、海外を含むグループ会社との連携強化による事業体制の整備・強化を進めることにより、足下収益水準の底上げおよび将来の事業拡大に向けた諸施策を積極的に推進してまいります。

電子材料事業においては、最終製品であるスマートフォン等携帯端末の高成長が一服した状況のもと、エンドメーカーおよびそのサプライチェーンを含む世界的な勢力図の変化が徐々に進んでおります。こうした中において、当社は当該用途向け各種関連材料分野のうちの世界トップメーカーの一つとして、的確な施策遂行により高シェアを確保し続けてきており、今後も当該シェアの維持を最大課題と位置づけた事業展開を図ります。このため、製品ラインナップの充実を含む顧客ニーズへの迅速、的確な対応を引き続き推進するとともに、製造をはじめとする各種コストダウンの取組みを本格化させることにより、製品競争力の一層の強化と収益力の確保に取り組んでまいります。

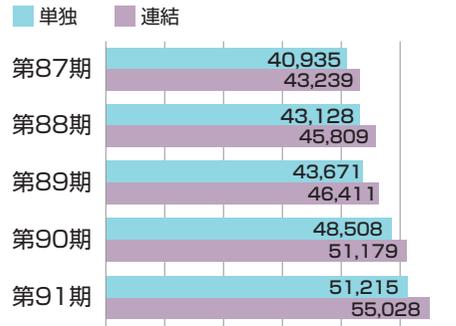
以上のほか、その他電子材料製品の事業伸長策を着実かつ計画的に進めるとともに、当社のもつコア要素技術を基礎とした周辺分野および新規分野での各種事業開発を積極的に展開していくことにより、持続的発展を可能とする事業体制の構築を図ります。

株主各位の一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

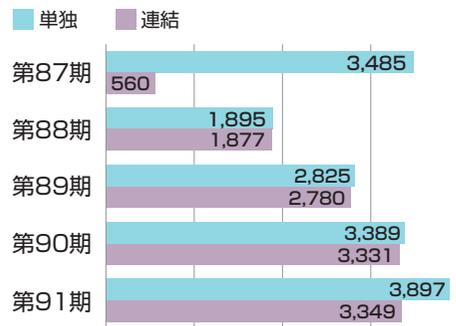


業績ハイライト

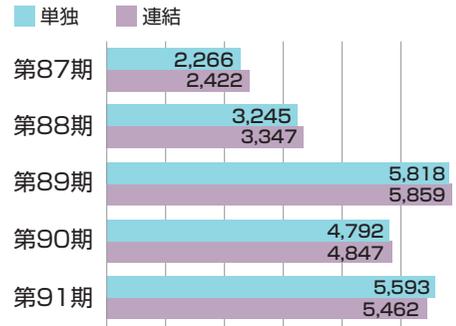
売上高 (単位/百万円)



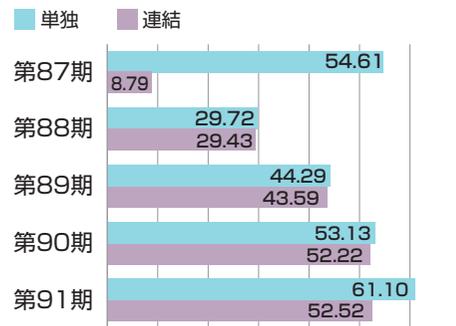
当期純利益 (単位/百万円)



経常利益 (単位/百万円)



1株当たり当期純利益 (単位/円)



	第87期 (平成23年3月)	第88期 (平成24年3月)	第89期 (平成25年3月)	第90期 (平成26年3月)	第91期 (平成27年3月)
売上高 (百万円)	43,239	45,809	46,411	51,179	55,028
経常利益 (百万円)	2,422	3,347	5,859	4,847	5,462
当期純利益 (百万円)	560	1,877	2,780	3,331	3,349
1株当たり当期純利益 (円)	8.79	29.43	43.59	52.22	52.52

財務諸表

連結財務諸表

連結貸借対照表

科目	(単位: 百万円)	
	当期末 (平成27年3月31日現在)	前期末 (平成26年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	32,403	29,102
固定資産	12,270	13,071
有形固定資産	10,488	11,551
無形固定資産	241	296
投資その他の資産	1,540	1,223
資産合計	44,673	42,174
負債の部		
流動負債	7,638	7,240
固定負債	2,239	3,412
負債合計	9,878	10,652
純資産の部		
株主資本	34,627	31,931
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,536	4,536
利益剰余金	24,998	22,302
自己株式	△ 1,584	△ 1,583
その他の包括利益累計額	168	△ 416
その他の有価証券評価差額金	234	152
繰延ヘッジ損益	86	△ 43
為替換算調整勘定	90	99
退職給付に係る調整累計額	△ 242	△ 624
少数株主持分	-	6
純資産合計	34,795	31,521
負債・純資産合計	44,673	42,174

連結損益計算書

科目	(単位: 百万円)	
	当 期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	前 期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
売上高	55,028	51,179
売上原価	41,679	39,456
売上総利益	13,349	11,723
販売費及び一般管理費	7,974	7,037
営業利益	5,374	4,685
営業外収益	224	260
営業外費用	136	99
経常利益	5,462	4,847
特別利益	215	225
特別損失	375	68
税金等調整前当期純利益	5,302	5,003
法人税、住民税及び事業税	1,966	1,603
法人税等調整額	△ 7	69
少数株主損益調整前当期純利益	3,343	3,331
少数株主損失	△ 6	-
当期純利益	3,349	3,331

連結包括利益計算書

科目	(単位: 百万円)	
	当 期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	前 期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
少数株主損益調整前当期純利益	3,343	3,331
その他の包括利益		
その他の有価証券評価差額金	81	49
繰延ヘッジ損益	130	△ 89
為替換算調整勘定	△ 9	82
退職給付に係る調整額	381	-
その他の包括利益合計	584	42
包括利益	3,928	3,373
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,934	3,373
少数株主に係る包括利益	△ 6	-

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位: 百万円)	
	当 期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	前 期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,452	1,754
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,027	△ 751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,787	△ 885
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 38	△ 18
現金及び現金同等物の増減額	599	99
現金及び現金同等物の期首残高	1,430	1,330
現金及び現金同等物の期末残高	2,029	1,430

会社情報

会社概要

(平成27年3月31日現在)

- 社名 タツタ電線株式会社
- 本店所在地 大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号
- 設立年月日 昭和20年9月28日
- 資本金 6,676,227,664円
- 従業員 連結 719名 単体 442名
- 事業内容
電線・ケーブル、電線・ケーブル付属品、電子材料(機能性フィルム、導電性ペースト、ボンディングワイヤ、防錆材)、機器システム製品(防災関連、病院・薬局合理化関連)、光関連製品(コネクタ端末加工、カブラ)の製造販売及び環境分析事業等その他のサービス事業



本社・大阪工場 テクニカルセンター 京都工場

役員

(平成27年6月26日現在)

- 代表取締役会長 木村 政信
- 代表取締役社長 外池 廉太郎
- 取締役 常務執行役員 三村 弘治
- 取締役 常務執行役員 西川 清明
- 取締役 常務執行役員 高橋 靖彦
- 取締役 常務執行役員 柴田 徹也
- 取締役 常務執行役員 辻 正人
- 取締役 檀上 芳郎
- 取締役 山道 修
- 取締役(監査等委員) 小笠原 亨
- 取締役(監査等委員) 津田 多聞
- 取締役(監査等委員) 安江 英行

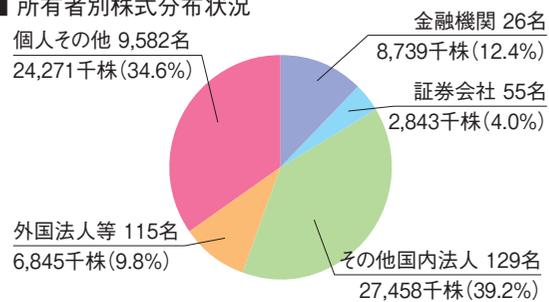
株式の状況

(平成27年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 156,693,000株
- 発行済株式の総数 70,156,394株
- 株主数 9,907名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
JXホールディングス株式会社	22,739	32.41
タツタ電線株式会社(自己株式)	6,369	9.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,239	3.19
住友金属鉱山株式会社	1,921	2.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,532	2.18
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140030	1,245	1.77
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,179	1.68
個人株主A	1,015	1.45
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	944	1.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	765	1.09

所有者別株式分布状況



ホームページ



アドレス <http://www.tatsuta.co.jp>

TOPICS トピックス

タツタの特長ある製品紹介

タツタ独自の漏酸検知システム

一酸の脅威から皆様の作業現場をお守りしますー



酸を扱う色々な箇所で活用できます!

産業用 漏酸検知システム 「サンミハール™」

対象は硫酸、塩酸、硝酸。お客様の用途に合わせた多彩なラインナップをご用意。既存設備への取り付けもOKです。また、システムの電源は既存設備とは別配線ですので、システムのメンテナンスは容易です。酸の漏れは約4分で検知可能。酸を扱う色々な箇所でご活用いただけます。

漏酸検知システムの概要

優れた性能と品質の機能性フィルム

タツタ電線では、スマートフォンをはじめとする携帯端末向けFPC(フレキシブルプリント基板)用電磁波シールドフィルムでは、超薄型品やプリフラックス(OSP:表面酸化防止処理)、高段差対応等のラインナップを揃えています。

高速伝送FPC用 薄型電磁波シールドフィルム 【SF-PC3300-C】

高速伝送FPCに最適な電磁波シールドフィルムの薄型タイプです。スマートフォン、タブレットPCにはより一層の高速化が要求され、伝送特性に優れたFPCの要望が高まっている中で、本製品は従来のシールドフィルムに比べ、伝送損失が小さく、FPCの高速伝送化をもたらした【SF-PC3100-C】の伝送特性を維持したまま、薄型化を実現いたしました。



本製品の特長

- 層厚17μmの薄型化を実現
- 高導電性と高シールド特性を実現
- 低伝送損失を実現

高速伝送FPC用薄型電磁波シールドフィルム【SF-PC3300-C】